

## 調査結果の要約

### 1. 小型家電の排出方法について

#### ●小型家電回収ボックスの利用経験は、「知らない」が6割弱（問7）

小型家電回収ボックスの利用経験は、「知らない」が57.9%と最も高く、次いで、「知っているが、利用したことはない」が26.8%、「利用したことがある」が13.8%となっている。“認知計”（「利用したことがある」＋「知っているが、利用したことはない」）は40.6%で、約4割が小型家電回収ボックスを認知している。

#### ●小型家電回収ボックスを利用していない理由は、「不燃の小物や大型ごみで排出している」が6割弱（問8【複数回答】）

小型家電回収ボックスを利用していない理由は、「不燃の小物や大型ごみで排出している」が58.9%で最も高く、次いで、「どこにあるのか知らない」が21.7%、「設置場所が自宅から遠い」が18.7%、「回収の対象品目がよくわからない」が17.2%となっている。

#### ●小型家電回収ボックスを設置してほしい場所は、「スーパー」が5割弱（問9【複数回答】）

小型家電回収ボックスを設置してほしい場所は、「スーパー」が48.9%で最も高く、次いで、「コンビニエンスストア」が44.8%、「家電販売店」が30.0%、「ホームセンター」が23.8%となっている。

#### ●宅配便回収事業者による回収の利用経験は、「知らない」が7割弱（問10）

宅配便回収事業者による回収の利用経験は、「知らない」が69.7%と最も高く、次いで、「知っているが、利用したことはない」が15.9%、「利用したことがある」が11.7%となっている。“認知計”（「利用したことがある」＋「知っているが、利用したことはない」）は27.6%で、3割弱が宅配便回収事業者による回収を認知している。

#### ●宅配便回収事業者による回収を利用していない理由は、「不燃の小物や大型ごみで排出している」が6割弱（問11【複数回答】）

宅配便回収事業者による回収を利用していない理由は、「不燃の小物や大型ごみで排出している」が56.7%で最も高く、次いで、「申込み方法がよくわからない」が20.0%、「回収の対象品目がよくわからない」が16.7%となっている。

#### ●個人情報を含む小型家電の処分方法は、「処分せずに保管している」が6割強（問12【複数回答】）

個人情報を含む小型家電の処分方法は、「処分せずに保管している」が62.6%と最も高く、次いで、「販売店に持ち込んでいる」が33.8%となっている。

## 2. 「救急安心センターおおさか」について

### ● 「救急安心センターおおさか」の認知と利用経験は、「知らない」が約7割（問13）

「救急安心センターおおさか」の認知と利用経験は、「知らない」が70.3%と最も高く、次いで、「知っているが、利用したことはない」が19.1%、「利用したことがある」が9.0%となっている。“認知計”（「利用したことがある」＋「知っているが、利用したことはない」）は28.1%で、3割弱が「救急安心センターおおさか」を認知している。

### ● 「救急安心センターおおさか」の利用方法の認知は、「救急車を利用していいのか迷う時」が4割強（問14【複数回答】）

「救急安心センターおおさか」の利用方法の認知は、「救急車を利用していいのか迷う時」が42.1%で最も高く、次いで、「病院での受診が必要か判断できない時」が37.2%、「かかりつけ病院が休診などで受診できない時」が36.0%となっている。

### ● 「救急安心センターおおさか」の認知経路は、「東大阪市の広報誌（市政だよりなど）を通じて」が6割弱（問15【複数回答】）

「救急安心センターおおさか」の認知経路は、「東大阪市の広報誌（市政だよりなど）を通じて」が57.6%で最も高く、次いで、「救急に関するポスター・パンフレットなどを通じて」が22.8%、「消防局が配布している「救急安心センター広報マグネット」を通じて」が20.0%となっている。

### ● 「救急安心センターおおさか」の利用場面は、「どこの病院へ行けばよいかわからない時」が4割弱（問16【複数回答】）

「救急安心センターおおさか」の利用場面は、「どこの病院へ行けばよいかわからない時」が39.7%で最も高く、次いで、「かかりつけ病院が休診などで受診できない時」が35.3%、「病院での受診が必要か判断できない時」が32.4%となっている。

### ● 「救急安心センターおおさか」がなかったときの対応は、「病院を調べて自分で病院へ行っていた」が6割弱（問17【複数回答】）

「救急安心センターおおさか」がなかったときの対応は、「病院を調べて自分で病院へ行っていた」が57.4%で最も高く、次いで、「119番通報し救急車を呼んでいた」が41.9%となっている。

### 3. 生活施設の利用環境について

#### ●ショッピングモールの利用場所は、「市外」が3割半（問18-A）

ショッピングモールの利用場所は、「市外」が34.8%で最も高く、次いで、「最寄りの鉄道駅周辺」が24.0%、「その他の区域」が13.1%となっている。

#### ●スーパーの利用場所は、「最寄りの鉄道駅周辺」が7割弱（問18-B）

スーパーの利用場所は、「最寄りの鉄道駅周辺」が68.2%で最も高く、次いで、「その他の区域」が19.6%となっている。

#### ●総合病院の利用場所は、「最寄りの鉄道駅周辺」が4割弱（問18-C）

総合病院の利用場所は、「最寄りの鉄道駅周辺」が37.7%で最も高く、次いで、「その他の区域」が16.5%、「その他の鉄道駅周辺」が13.9%となっている。

#### ●高齢者福祉施設の利用場所は、「最寄りの鉄道駅周辺」が1割強（問18-D）

高齢者福祉施設の利用場所は、「最寄りの鉄道駅周辺」が11.4%で最も高いが、「利用しない」は71.8%となっている。

#### ●図書館の利用場所は、「最寄りの鉄道駅周辺」が3割弱（問18-E）

図書館の利用場所は、「最寄りの鉄道駅周辺」が27.1%、「その他の鉄道駅周辺」が9.6%、「その他の区域」が9.2%となっており、「利用しない」は42.1%となっている。

#### ●公民館・集会所の利用場所は、「最寄りの鉄道駅周辺」が3割弱（問18-F）

公民館・集会所の利用場所は、「最寄りの鉄道駅周辺」が27.0%、「その他の区域」が8.9%となっており、「利用しない」は51.9%となっている。

#### ●カラオケボックス・映画館などの利用場所は、「市外」が3割弱（問18-G）

カラオケボックス・映画館などの利用場所は、「市外」が28.7%で最も高く、次いで、「最寄りの鉄道駅周辺」が21.1%、「利用しない」は20.9%となっている。

#### ●保育所・託児所などの利用場所は、「最寄りの鉄道駅周辺」が1割強（問18-H）

保育所・託児所などの利用場所は、「最寄りの鉄道駅周辺」が11.3%で最も高いが、「利用しない」は74.6%となっている。

#### ●ショッピングモールへの交通手段は、「自動車」が5割弱（問19-A）

ショッピングモールへの交通手段は、「自動車」が48.7%で最も高く、次いで、「自転車・バイク」が15.7%、「鉄道」が15.1%となっている。

#### ●スーパーへの交通手段は、「自転車・バイク」が4割半（問19-B）

スーパーへの交通手段は、「自転車・バイク」が45.0%で最も高く、次いで、「自動車」が24.1%、「徒歩」が21.2%となっている。

●総合病院への交通手段は、「自動車」が4割弱（問19-C）

総合病院への交通手段は、「自動車」が37.6%で最も高く、次いで、「自転車・バイク」が22.7%、「鉄道」が13.0%となっている。

●高齢者福祉施設への交通手段は、「自動車」が1割弱（問19-D）

高齢者福祉施設への交通手段は、「自動車」が7.6%で最も高く、次いで、「自転車・バイク」が5.4%となっており、「利用しない」は73.2%となっている。

●図書館への交通手段は、「自転車・バイク」が2割半（問19-E）

図書館への交通手段は、「自転車・バイク」が25.2%で最も高く、次いで、「自動車」が12.2%となっており、「利用しない」は41.6%となっている。

●公民館・集会所への交通手段は、「徒歩」が2割弱（問19-F）

公民館・集会所への交通手段は、「徒歩」が19.7%で最も高く、次いで、「自転車・バイク」が16.1%となっており、「利用しない」は50.2%となっている。

●カラオケボックス・映画館などへの交通手段は、「鉄道」が2割半（問19-G）

カラオケボックス・映画館などへの交通手段は、「鉄道」が24.7%で最も高く、次いで、「自動車」が22.1%、「自転車・バイク」が16.9%となっており、「利用しない」は20.5%となっている。

●保育所・託児所などへの交通手段は、「自転車・バイク」が1割弱（問19-H）

保育所・託児所などへの交通手段は、「自転車・バイク」が8.7%で最も高く、「利用しない」は75.2%となっている。

●最寄りの鉄道駅周辺にできてほしい施設は、「ショッピングモール」が4割半（問20-1【複数回答】）

最寄りの鉄道駅周辺にできてほしい施設は、「ショッピングモール」が45.4%で最も高く、次いで、「総合病院」が41.1%、「スーパー」が26.4%、「カラオケボックス・映画館など」が18.3%となっている。

●市内の中心駅周辺にできてほしい施設は、「ショッピングモール」が4割強（問20-2【複数回答】）

市内の中心駅周辺にできてほしい施設は、「ショッピングモール」が42.0%で最も高く、次いで、「総合病院」が38.0%、「スーパー」が16.5%となっている。

#### 4. 市民活動と東大阪市への居留意向について

- 自治会への加入有無は、「加入しているが、自治会活動にはほとんど参加していない」が4割強（問21）  
自治会への加入有無は、「加入しているが、自治会活動にはほとんど参加していない」が42.5%で最も高く、次いで、「加入しており、地域の行事などには参加している」が18.8%、「加入していない」が18.0%となっている。
  
- 参加したことがある市民活動は、「参加したことはない」が5割弱（問22【複数回答】）  
参加したことがある市民活動は、「参加したことはない」が47.8%で最も高いが、市民活動は「自治会や防犯などの地域活動」が29.7%、「PTAなどの学校関係の活動」が25.1%となっている。
  
- 地域の市民活動の印象は、「わからない」が6割強（問23）  
地域の市民活動の印象は、「わからない」が61.8%で最も高く、次いで、「以前からとても活発である」が14.3%、「以前から活発でない」が10.6%、「最近、活発でなくなってきた」が8.1%となっている。
  
- 地域の市民活動の満足度は、「わからない」が5割半（問24）  
地域の市民活動の満足度は、「わからない」が55.8%で最も高く、次いで、「ある程度満足している」が20.6%、「満足している」が9.0%となっている。“満足計”（「満足している」+「ある程度満足している」）は29.6%となっている。
  
- 東大阪市への居留意向は、「今の場所に住み続けたい」が7割弱（問25）  
東大阪市への居留意向は、「今の場所に住み続けたい」が66.2%で最も高く、次いで、「いずれ市外に引っ越したい」が13.5%となっている。

## 5. 住まい・住生活について

### ●東大阪市に住んでいる理由は、「親（子）と同居している、または近くに住んでいるから」が3割半 （問26【複数回答】）

東大阪市に住んでいる理由は、「親（子）と同居している、または近くに住んでいるから」が34.9%で最も高く、次いで、「生まれたのが東大阪市だから」が34.7%、「駅などが近くにあり交通の利便性が良いから」が27.3%、「買い物先が近くにあるなど日常生活の利便性が良いから」が26.3%となっている。

### ●住みかえる場合の住宅タイプは、「持ち家の戸建住宅」が4割強（問27）

住みかえる場合の住宅タイプは、「持ち家の戸建住宅」が42.0%で最も高く、次いで、「特にこだわりはない」が19.6%、「分譲マンション」が17.2%となっている。

### ●住まいを選ぶ時の重視点は、「駅から近いなどの交通利便性」が7割強（問28【複数回答】）

住まいを選ぶ時の重視点は、「駅から近いなどの交通利便性」が74.4%で最も高く、次いで、「買い物をするのに便利なところ」が72.7%、「医療施設が近い」が50.8%、「緑、公園、自然などの周辺環境が良い」が42.0%となっている。

### ●東大阪市は住みやすいまちだと思うかどうかは、「まあそう思う」が5割強（問29）

東大阪市は住みやすいまちだと思うかどうかは、「まあそう思う」が53.0%で最も高く、次いで、「そう思う」が15.7%、「あまりそう思わない」が15.1%となっている。“そう思う計”（「そう思う」＋「まあそう思う」）は68.7%となっている。

### ●力を入れてほしい住宅政策は、「まちの美化・緑化など、良好な住環境の整備」が5割弱 （問30【複数回答】）

力を入れてほしい住宅政策は、「まちの美化・緑化など、良好な住環境の整備」が49.9%で最も高く、次いで、「災害に強い安全・安心なまちづくり（住宅の耐震化・放置空き家対策など）」が47.8%、「高齢者・障害者・子育て世帯などに対する入居などの支援」が39.8%となっている。

## 6. 読書について

### ●先月読んだ本の数は、「1～5冊」が4割半（問31）

先月読んだ本の数は、「1～5冊」が45.5%で最も高く、次いで「0冊」が39.0%、「6～10冊」が7.1%となっている。

### ●本を読んだ場所は、「自宅」が9割弱（問32【複数回答】）

本を読んだ場所は、「自宅」が88.5%で最も高く、次いで、「通勤・通学などの移動中」が18.0%、「図書館」が8.0%となっている。

### ●図書館の利用頻度は、「利用しない」が5割半（問33）

図書館の利用頻度は、「利用しない」が55.7%で最も高く、次いで、「あまり利用しない」が30.9%、「月2～3回程度利用する」が9.5%となっている。

### ●子どもころの読み聞かせ経験は、「ときどき読んでもらった」が3割弱（問34）

子どもころの読み聞かせ経験は、「ときどき読んでもらった」が29.0%で最も高く、次いで、「あまり読んでもらえなかった」が26.0%、「読んでもらえなかった」が25.4%となっている。“読んでもらった計”（「よく読んでもらった」＋「ときどき読んでもらった」）は、46.0%となっている。

### ●子ども読書活動促進のために必要だと思うことは、「本を読み聞かせる」が約6割（問35【複数回答】）

子ども読書活動促進のために必要だと思うことは、「本を読み聞かせる」が60.4%と最も高く、次いで、「学校で読書の楽しさを教える」が46.0%、「学校の図書室の充実」が29.9%、「図書館や書店と一緒に行く」が28.4%となっている。